

【説明書】日向市带状疱疹定期予防接種について

この予防接種は、本人が接種を希望する場合にのみ行います。
この説明書を事前に読み、気になることがある場合は主治医へ相談してください。

【 带状疱疹とは 】

過去に水痘にかかった時に体に潜伏した水痘・带状疱疹ウイルスが再活性化することで、体の左右どちらかの神経に沿って帯状に水疱が出現する病気です。時に痛みを伴います。また、合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

【 接種対象者 】

下記の①～③のいずれかを満たし、予防接種実施日に日向市に住民登録がある人

- ① 今年度中に65歳に達する人
- ② 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な人
- ③ 各年度中に70、75、80、85、90、95、100歳に達する人も対象となります。
(令和7年度から令和11年度までの5年間の経過措置)

※過去に带状疱疹の予防接種を受けた人は、医師が再度の接種の必要性を認めない限り対象となりません。

【使用ワクチンについて】 ※接種は一種類のみ

ワクチン種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回（2回目は、通常1回目から2か月以上空けて接種します。予診票は後日郵送されます。）
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
発症予防効果	接種後1年 約60% 接種後5年 約40% 接種後10年 -	接種後1年 90%以上 接種後5年 約90% 接種後10年 約70%
主な副反応と発現割合 (*は注射した部位の症状です)	発赤* 30%以上 そう痒感*、熱感*、腫脹*、 疼痛*、硬結* 10%以上 発疹、倦怠感 1%以上	疼痛* 70%以上 発赤*、筋肉痛、疲労 30%以上 腫脹*、頭痛、悪寒、発熱、 胃腸症状 10%以上 痒み*、倦怠感、その他疼痛 1%以上
他のワクチンとの接種間隔	注射生ワクチンの場合は27日以上の間隔を置く	制限なし
接種費用	7,513円	20,713円(1回につき)
うち自己負担額	2,200円	6,200円(2回で12,400円)
注意事項	免疫が低下している人は接種できません。	2回目の接種が令和9年4月以降になると全額自己負担になります。

【 副反応 】

前項に挙げた副反応がみられることがあります。また、生ワクチンはアナフィラキシー・血小板減少性紫斑病・無菌性髄膜炎が、不活化ワクチンはショック・アナフィラキシーが、まれに現れることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

【 受けることが適当でない人 】

- ▶ 明らかに発熱のある人(37.5℃以上)
- ▶ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ▶ 予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある人
- ▶ 帯状疱疹の予防接種を受けたことがあり、再度接種する必要がないと認められる人
- ▶ (生ワクチンのみ)病気や治療によって、免疫機能が低下している人
- ▶ 上記のほか、予防接種を受けることが不適当な状態にあると医師が判断した人

【 受ける前に医師への相談が必要な人 】

- ▶ 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する人
- ▶ 予防接種を受けて2日以内に発熱や、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状をおこしたことがある人
- ▶ けいれん(ひきつけ)を起こしたことがある人
- ▶ 免疫機能の異常を指摘されたことがある人
- ▶ 先天性免疫不全症の近親者がいる人
- ▶ 予防接種の接種液の成分によってアレルギーを起こす可能性がある人
- ▶ (生ワクチンのみ)輸血またはガンマグロブリン製剤の投与を受けた人
- ▶ (不活化ワクチンのみ)血小板減少症や凝固障害がある人

【 接種後に注意すること 】

- ▶ 接種後30分程度は急な副反応が起こることがあるため安静にしましょう。体調の異常を感じた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。
- ▶ 当日は、激しい運動を控えてください。接種当日の入浴は差し支えありません。

「予防接種済証」は大切に保管してください！

【 予防接種健康被害救済制度 】

極めてまれですが健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあるため、救済制度が設けられています。

厚生労働大臣が健康被害を認定した場合、予防接種法に定められた医療費や各種手当などの給付を受けられます。

問い合わせ先:日向市健康増進課 ☎66-1024